

平成 28 年度「林産教育研究会」企画見学会

林産教育研究会幹事 鹿児島大学 寺床 勝也

林産教育研究会では、日本木材学会年次大会の開催期間中、見学会を企画立案し、会員相互の情報交換を積極的に開催しております。平成 28 年度では、下記のとおり見学会を開催しましたので、概要を報告いたします。

【概要】林産教育研究会は、国内の木材によるものづくり教育および社会教育の事例を実際に見学することで、情報を収集共有し、現代的課題について検討しています。

平成 28 年度（平成 29 年 3 月）は、福岡を拠点に、木材によるものづくりの場を運営している「みんなの木工房 テノ森」（代表：細井 護 氏）の現場を見学しました。この工房は、地域住民参加型で運営成立しているところが特徴的です。工房で提供されるさまざまな木製品プロジェクトには、材料費と相応の受講料が設定され、これが工房の収益となっています。年間を通じて各種講習会が設定され、参加者は自身の技量やニーズに応じて、木製品を完成させるプログラムとなっています。これらの活動は、地元参加者のライフスタイルを向上するとともに、木材に対する意識を高めることに成功した新しいビジネスモデルといえます。見学に参加した学会員からの評価も高く、参考となる多くの情報を共有することができました。今後の学会員と地域のものづくりの発展に期待しております。



写真1 製作中のロッキングチェア



写真2 工房のようす

記

第 67 回日本木材学会年次大会（福岡大会）

日 時： 平成 29 年 3 月 19 日 13:00～16:00

場 所： みんなの木工房 テノ森（福岡県福津市津屋崎 5 丁目 45-10）

開催形態：（主催：林産教育研究会【見学会】）、他の主催/共催/協賛団体等：なし

参加者数： 7 名

企画立案：（林産教育研究会幹事 鹿児島大学 寺床 勝也 岐阜大学 小原 光博）